

●坊ノ津道路(国道226号・坊ノ津道路工区)が完成します

国道226号のうち南さつま市坊津町の坊から久志の間の8.3kmの区間は、とても眺望のよいところがたくさんありますが、幅が狭く線形も悪かったため、車両がすれ違うことが困難で、見通しが悪く、歩行者も歩きにくいなど、交通安全上いくつかの問題点がありました。

このため、坊ノ津道路工区として、平成5年度から20数年かけて、トンネル、橋梁を含む道路改良を行い、現在、最後の橋梁等を施工しています。

平成29年度中に完成し、緊急車両の移動時間短縮効果や観光客の増加など、南薩地域の振興に大いに貢献することが期待されます。



▲新たに架設した平尾地区橋梁



▲拡幅して2車線化した道路

●日本一の黒毛和牛を召し上がれ

平成29年9月に宮城県で開催された全国和牛共進会で日本一に輝いた鹿児島県。南薩地域からは肉質や肉量を比較する「肉牛の部」に2頭の肥育牛が出品され、どちらも上位入賞し、南薩地域が肉用牛の優秀な産地であることが証明されました。

南薩地域の肉用牛飼養頭数は約5万1千頭(県全体の16%)で、その内3万7千頭が肉にするための肥育牛です。一般的には市場から子牛を購入して肥育しますが、当地域は市場をとおさず自家産の子牛を肥育し、低コスト生産を行う一貫経営農家が多いことも特色です。

このように南薩地域では肉質の優れた和牛が生産されています。この機会に是非とも日本一のおいしい和牛をご賞味ください。



子牛から肥育まで一貫生産する農家が多い



日本一の牛肉を食べましょう



全共で上位入賞した南薩産の牛肉
(生産:JA南さつま青木牧場→肥育:江籠畜産)

写真提供:(公社)全国和牛登録協会、
帯広畜産大学口田教授撮影